



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

秘
農林水産省

令和〇〇年度

令和〇〇年度産花木等生産状況調査票

この調査は、花木、芝類、地被植物の作付面積、出荷数量及び出荷額等の実態を把握し、花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針に基づく、各種施策の推進のための資料として活用することを目的に実施するものです。

この調査は、農林水産省が統計法(平成19年法律第53号)に基づく一般統計調査として実施するものです。なお、本調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことは絶対ありませんのでご協力をお願いします。

都道府県名

集出荷団体等の名称

記入担当者(所属) (氏名)

電話番号:

E-mail:

担当
農林水産省大臣官房統計部
生産流通消費統計課
TEL: 03-6744-2044、FAX: 03-5511-8771

(業務請負者)
TEL: 、FAX:
E-mail: 担当:

1. 花木類の作付面積、出荷数量、出荷額、実栽培農家数

種類名	令和〇年産		実績	
	作付面積	出荷数量	出荷額	実栽培農家数
	a	千本	千円	
ツツジ				
サツキ				
カイヅカイブキ				
タマイブキ				
ツバキ				
モミジ				
ヒバ類				
ツゲ類				
その他花木				
花木類計	0	0	0	戸



- 注1 各項目において、「苗木」と「成木」の区分を記入して下さい。
「苗木」とは、挿木、取木、実生等による繁殖時点より、おおむね2年未満のもので、一般的に苗木として流通されている状態まで成長しているもの（作付面積については養成中のものを含む。）
「成木」とは、おおむね2年以上のもの（切り枝用の成木を除く。）。
- 注2 作付面積・出荷額等の数値の記入については、整数（小数点第1位を四捨五入）としてください。ただし、単位に満たないものは「0」で記入してください（以下各表とも同じ。）。
- 注3 数値の記入に当たっては、事実のないものは「-」としてください（以下各表とも同じ。）。
- 注4 「作付面積」は、「栽培農家」（該当する種類を販売することを目的として生産している販売農家（経営耕地面積が30a以上又は農産物販売価格金額が年間50万円以上の農家）及び組織経営体（協業経営体、株式会社、有限会社、その他の会社、農協、その他農業団体で法人格を有するもの等、世帯以外の農業事業体））において、ほ場等に植栽・栽培されている面積をいいます（以下各表とも同じ。）。
- 注5 この調査で「花木類」とは、観賞用樹木（タケを含む。）をいいます（鉢ものとして生産されているものは除く。）。
- 注6 調査対象とする花木類は、販売用にほ場で栽培されているものとし、宅地内等に植栽されたもの及び流通業者の在庫は含めないこととします。
- 注7 「作付面積」は、調査該当年次の12月末日に苗木ほ場又は成木ほ場に植栽されている面積を、「出荷数量」は、当該年次の1～12月に出荷された数量を、「出荷額」は同期間中に出荷された金額を、それぞれ記入することとします。
- 注8 「実栽培農家数」の花木類計の欄は、花木類を生産している農家の実数を記入してください。栽培農家数が1又は2の場合は、農家数が秘匿されますが、公表を希望する場合はチェックを記入してください。



2. 芝の作付面積、出荷数量、出荷額、実栽培農家数等

区分	令和〇年産 実績			備考
	作付面積	出荷数量	出荷額 千円	
日本芝	a	a		造園用
西洋芝				土木用
芝計	0	0	0	ゴルフ場用

注1 調査の対象とする芝は、造園用、土木用又はゴルフ場(運動場を含む。)用に販売するため、市場において完成している芝とし、最終需要地(ゴルフ場等)に植栽されている芝は調査対象としません。

注2 「日本芝」とはノシバ、コウライシバ等の日本芝とし、「西洋芝」とはベントグラス類、ブルドーラス類及びこれらの類似の芝とします。

注3 「作付面積」は、調査該当年次の1～12月の間にほ場で栽培された延べ面積を、「出荷数量」は、当該年次の1～12月に出荷した数量を、「出荷額」は当該年次の1～12月に出荷された金額を、それぞれ記入することとします。

注4 「実栽培農家数」の芝計の欄は芝を生産している栽培農家の実数を記入してください。栽培農家数が1又は2の場合は、農家数が秘匿されますが、公表を希望する場合はチェックを記入してください。

注5 備考欄には、当該年次の実績について造園用、土木用、ゴルフ場(運動場を含む。)用について「出荷数量」の割合を記入してください。



3. 芝以外の地被植物類(カバープランツ)の作付面積、出荷数量、出荷額、実栽培農家数等

区分	令和〇年産			実績 実栽培農家数	備考
	作付面積	出荷数量	出荷額 千円		
蔓もの類	a	a			%
タケ・ササ類					造園用
ジャノヒゲ類					土木用
草本類					その他()
木本類					
地被植物類計	0	0	0	戸	

注1 この調査において「地被植物類」とは、成長とともに自然的な広がりによって庭前や壁面をカバーしていく植物(花壇苗及び鉢ものとして生産されるものを除く。)をいいます。

注2 調査の対象とする「地被植物類」は、造園用、土木用等に販売するため、ほ場において養成されているものとし、最終需要地(公園等)に植栽されているものは調査対象としません。

注3 「蔓もの類」とは、ヘチマ類、ナツメ、カビカズラ及びヒナンカズラ等の蔓性植物を、「タケ・ササ類」とは、オカメザサ、コマザサ、チゴザサ及びオロシマチク等を、「草本類」とは、フッキソウ、ピンカ(ニチニチソウ)、シヤガ等の草本性植物(「蔓もの類」、「タケ・ササ類」及び「ジャノヒゲ類」を除く)を、「木本類」とは、強匍匐性、低樹高の観賞用針葉樹(スギ属、ヒノキ属、ビャクシン属)等をいいます。

注4 「作付面積」は、調査該当年次の12月末日に栽培されている面積を、「出荷数量」は、当該年次の1～12月に出荷した数量を、「出荷額」は出荷された金額を、それぞれ記入してください。

注5 「実栽培農家数」の合計の欄は個々の品目の栽培農家の合計値(のべ数)ではなく、地被植物類を生産している農家の実数を記入してください。栽培農家数が1又は2の場合は、農家数が秘匿されますが、公表を希望する場合はチェックを記入してください。

注6 「備考」欄には、当年次の実績について造園用・土木用等について「出荷数量」の割合を記入してください。